

クロスアップ 日★光★人



エス・ジー・ジー 日光SGGクラブ

東武日光駅構内の観光案内所で、通訳ボランティア活動に取り組む日光SGGクラブ(以下、日光SGG)を紹介します。

国から国際観光モデル地区の指定を受けた旧日光市が、外国人への対応として通訳ボランティアを呼びかけました。集まった人たちが日光SGGを組織し、1988年から活動を始めました。

「SGG」とは組織化された善意通訳のことで、県内では日光市と宇都宮市だけにあります。日光SGGは英語での観光案内を基本としつつ、事前予約があれば、世界遺産地区の英語同行ガイドも行っています。ただ、あくまでも

活動日
4～11月は毎日(午前9時～午後1時)
12～3月は金曜～月曜日(午前9時～正午)
主な活動場所 東武日光駅構内の観光案内所
会員 37名
代表者 中村久美子
問い合わせ先 中村久美子 ☎25-3107

ボランティアなので、個人や学校からの依頼にのみ応じています。また、会員の英語力向上や新たなガイド育成のため、興味のある市民が参加できる実用英会話講座を開催したり、会員が英会話に慣れるための英語おしゃべり会を定期的に開催しています。冬は月に4回程度、車で当日に参加を受け付ける外国人向けの英語ガイドツアーも行っています。

活動を通じて、外国人に申し訳なく思う点を「カード」を使える場所や現金を引き出す場所が少ないこと」と話す会長の中村さん。行楽シーズンの道路事情の悪さから、旅程の変更を余儀なくされることも残念に思っているそうです。

日光SGGは、案内所を訪れた外国人に折り鶴をプレゼントしています。そんな心遣いが伝わるのか、ガイドした相手はみんな喜んでくれるそうです。また会員は、



観光案内所でのガイドの様子

震災以降大幅に減った外国人旅行者が徐々に増え、また日光に来てくれることを、これまで以上にうれしく感じているそうです。

日光SGGは、活動を充実させるため、外国人と会話できる英会話力を持った方(英検2級程度)を求めています。中村さんは、「市内には、英会話はできるのに使っていない方が、たくさんいると思います。少しでも興味があれば、一緒に活動してほしいですね」と呼びかけています。

あなたも、自分の英会話を外国人の「おもてなし」に生かしてみませんか。

紹介したい人、サークルを募集しています!

クロスアップ日・光・人では、活躍している人、サークルを紹介しています。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありませんら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。

※掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

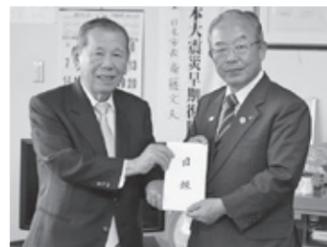
連絡先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21)5135

みんなの投稿でつくる 地域NEWSリレー



1千万円の寄付

「ぎぬ川ホテル三日月」を経営するホテル三日月グループ小高会長から、福祉の充実を目的に1千万円が寄付されました。同グループからは、平成23年2月にも1億円の寄付をいただいております。この寄付金を基に「日光市三日月福祉基金」を設置しています。今回の寄付金も、全額を基金に積み立てることにしています。



文・写真: 高齢福祉課

山芋品評会・即売会

足尾銅山観光前で、山芋品評会と即売会を行いました。品評会には6軒の農家から見事な山芋が出品され、斎藤ツネさんが最優秀賞に輝きました。即売会では、NHK宇都宮放送局のキャラクター「いちごごもくん」が登場し、会場は大にぎわい。県内外から多数のお客さんが会場を訪れ、山芋はすぐに完売しました。



文・写真: 足尾総合支所産業建設課

消防団協力事業所表示証を交付

消防団協力事業所表示証制度は、消防団員の確保や消防活動がしやすい環境づくりに協力していただける事業所などに、その証として表示証の交付を行うものです。

今回、有限会社山久保建設に、消防団協力事業所表示証を交付し、消防団のさまざまな活動に対する、更なる協力を依頼しました。



文・写真: 消防本部総務課

国体キヤラバン隊表敬訪問

第69回国民体育大会冬季大会の開催をPRする国体キヤラバン隊が、市長を表敬訪問しました。

国体キヤラバン隊は、とちまるくんといっしょに応援ソング「とちまる・WARAKU」に合わせてダンスを披露しました。市内のイベント会場や小中学校を訪問しますので、応援をよろしくお願いします。



文・写真: 国民体育大会推進課

救急功労者に感謝状

心肺停止状態になった宿泊客に応急手当を行い、社会復帰に結びつけた「関東百貨店健康保険組合保養所きめがわ」の従業員3名に対し、感謝状を贈呈しました。

市の救急技術認定事業所でもあるこの施設は、毎年、救命講習会を受講しており、安心・安全な観光地づくりに貢献している施設です。



文・写真: 藤原消防署

救命リレーに感謝状

救命処置協力者として中山さん、竹末さんに感謝状を贈呈しました。

二人は、道路上に心肺停止の状態に倒れた女性を発見、すぐに119番通報をし、救急隊到着まで心臓マッサージを継続しました。

その後、到着した救急隊がAEDを実施し、女性は意識を回復、一命を取りとめたものです。



文・写真: 今市消防署

地域のニュースを募集しています!!

このコーナーでは、皆さんから記事と写真の投稿を募集しています。

募集する記事 自治会の催しや、地域のちよつと珍しい出来事、心温まるエピソードなど

※内容によっては掲載できない場合があります。

応募方法 記事に写真を添え、住所・氏名・電話番号を明記の上、持参または郵送、メールで応募ください。

○記事: 140字程度(題名、日付、場所を別に記載してください)

○写真: 紙焼きしたものの・デジタルデータどちらでもOKです。ただし、携帯電話のカメラで撮ったものなど、大きくした際に画像が荒れてしまうものは不可とします。

あて先 〒321-1292 今市本町1番地 日光市役所 企画部 秘書広報課 広報広聴係

メール hishokouhou@citynikko.lg.jp